

8-2-2 業界展望を考える若手技術者の会

1. 委員会の開催

委員会開催回数：10回開催

若手の会は、全国各支部から20～30代のメンバーを集め活動を展開している。若手の会は、月1回程度の会合とあわせて、他支部の若手組織との連携や業界外の異業種との連携を図っている。

2. 実績報告

(1) 全国各支部の若手組織代表者会議

全国各支部の若手活動組織の代表者を集め、6月29日（金）に全国大会を開催した。内容としては、各支部で活動している事例を紹介してもらい、好事例を共有し、全国への水平展開のきっかけとした。

(2) 支部若手組織との交流会開催

若手の会では、各支部若手組織との交流会として、これまでに北陸支部（平成27年8月28日）、関東支部（平成27年12月11日）、九州支部（平成28年5月27日）、近畿支部（平成28年10月28日）、東北支部（平成29年6月2日）、中国支部（平成29年10月27日）と開催してきており、今年度は、四国支部（平成30年5月25日）、中部支部（平成30年10月12日）と実施した。

(3) 建コンアカデミアの開催

各企業の経営者と若手技術者との対談会として、建コンアカデミアを開催してきた。パシフィックコンサルタンツ株式会社の長谷川伸一様をお招きした第1回に引き続き、今年度は株式会社建設技術研究所の村田和夫様、株式会社長大の永治泰司様をお招きし、合計2回開催した。

(4) 建コン働き方アイデアソンの開催

働き方先進的企業のサイボウズ株式会社の協力の下、合計3回（第1回：10月15日、第2回11月15日、第3回12月7日）の勉強会「建コン働き方アイデアソン with サイボウズ」を開催した（若手の会+公募メンバー計53名）。

本アイデアソンでは、サイボウズ講師から社

内の先進的な制度・ツール・風土を紹介いただくと共に、「働き方に関する問題解決」、「チームワークの醸成」、「働くモチベーションの向上」のためのフレームワークを学び、その学びを実際の業界の働き方に当てはめて、問題点の洗い出し、問題解決のためのアクションプランをまとめた。また、期間内にはグループウェア上で日常的に議論を積み上げた結果、アイデアソンで得た学びをもとに、若手が自発的に自社の働き方を改善するアクションを提案、実施する動きが見られた。今後もこうした動きを活発化させるため、グループウェアを通じたアクション集積のプラットフォームとして活動していく予定である。

(5) 各種オウンドメディアによる情報配信

若手の会の関連の情報配信メディアとして、ウェブサイト「KenConnect」を平成30年12月にローンチした。また、月2回の「魂のメルマガ」の配信、Facebook「建コン 4.01（ケンコンフォース）」の掲載も継続している。

3. その他報告事項

特になし。

4. 次年度の活動について

(1) 上記内容を継続的に実施する。

（業界展望を考える若手技術者の会委員長
伊藤 昌明）